

施政方針説明要旨

3月定例会

平成25年（2013年）2月25日

3月定例会に平成24年度補正予算案及び平成25年度予算案並びにこれに関連する諸議案を提出し、ご審議をいただくにあたり、その提案理由並びに市政運営に対します私の所信を申し述べたいと存じます。

はじめに、平成25年度予算案におきまして、「新・豊中市行財政改革大綱」で掲げた、経常収支比率95%以下という目標を達成する見通しをつけることができましたことをご報告申し上げます。

本市は、平成11年10月に、赤字再建団体への転落の危機を回避するため、財政非常事態を宣言いたしました。この間、職員定数の削減や人件費の縮減、事務事業の見直しとともに、民間活力の導入や職員の意識改革などに取り組み、財政再建のみならず行政構造の抜本的な改革を断行してまいりました。

その結果、経常収支比率は、平成10年度の105.1%から平成25年度は94.9%に改善するとともに、市債残高は、ピーク時の2,311億円から1,702億円となり、609億円の減少を図りました。さらに、財政の健全度を示す財政指数では、平成23年度まで8年連続で実質収支黒字

およびプライマリーバランスを継続している状況にあります。

これらのことを踏まえたうえで、私は、現在の財政は、非常事態宣言がなされた当時の状況を脱したと申し上げたいと存じます。このことは、議会や市民の皆さんのご理解とご協力の賜物であり、心からお礼を申し上げます。

私は、改革とは、現状の流れに一石を投じ、あえて波紋をおこし、現に動いている仕組みとの摩擦を繰り返しつつ、新たな価値を生み出す作業であると考えております。

そして、これまでの成果を持続し、時代の要請に応じていくためには、仕事を常に見直し、行政組織全体に改善する姿勢を定着させること、また、議会や市民の皆さんとの共通認識のもとで市政運営を推進していくことが、何よりも重要であると認識しております。

私はこの間、公約に掲げました基本政策の進捗を公表するとともに、昨年には、包括外部監査制度を導入し、新たな行政評価制度をスタートさせました。このことにより、成果重視の行政運営はもとより、行政活動の可視化と情報の共有化を進め、議会や市民の皆さんに対して、いっそうの説明責任を果たしてまいります。

今後におきましても、行財政の弾力性と持続可能性を常に念頭におきながら、行政改革を不断に取り組んでいくことをお約束いたします。

本市は、昨年4月、“もっと身近な市役所に”を合言葉に、特例市から中核市への移行を果たすとともに、豊能地区の自治体とともに教職員人事権の移譲を受け、市制の歴史に新たな一ページを刻みました。8月には、大阪国際空港就航先へのトップセールスの集大成としまして、24都市が一堂に会するサミット会議を開催し、空港を活かしたまちづくりを共に進めていくことを確認いたしました。また、岩手県大槌町への震災救援活動をきっかけに、桜塚高校と大槌高校が「さくら協定」を締結するなど、行政による支援活動が市民相互の交流へと広がりつつあります。

さらに秋にかけては、大阪大学や大阪音楽大学、日本センチュリー交響楽団をはじめ、たくさんの市民の皆さんのご協力のもと、「とよなか音楽月間」をスタートさせ、「豊中まちなかクラシック」など49にのぼる事業を市内各所で展開し、1万7千人ものご来場をいただいたところでありま

また、市内におきましては、市民の主体的な事業が、数多く開かれた年でもありました。

まちびらきから50年を迎えた千里ニュータウンでは、地元の皆さんがまちの歴史や未来を共に語り合い、また、庄内、服部地域では、100を超える地元の店舗と市民の皆さんが協力し合い、「庄内バル」・「服部バル」が開催されるなど、地域の個性を魅力につなぐ試みが展開されました。

トップセールスを始めてからこの間、数多くの出会いがありました。全国各地の就航都市では、長引く不況による産業の停滞や、震災の復旧・復興が思うように進まないなど、未だ道のりは険しい状況にあるとお聞きします。

その一方で、お会いした皆さん誰もが、我がまちへの誇りを胸に、その発展や復興のため、情熱をもってまちの魅力を語りかけてこられます。私は、その真摯な姿勢を目のあたりにし、まちを愛すること、自信を持ってまちの自慢ができることの素晴らしさに感動すると同時に、39万都市のリーダーとして、本市の魅力をさらに多くの方々に、お伝えしていきたいとの思いをいっそう強くしたところであります。

さて、我が国の経済は景気の底割れが懸念される状況を経て、世界経済の緩やかな回復が期待される中で、着実な需要の掘り起こしと雇用創出により、回復が進むものと見込まれております。

国においては、本年1月に「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を策定するとともに、いわゆる15か月予算の考え方で、およそ13兆2千億円の平成24年度一般会計補正予算と総額9兆6千億円の平成25年度一般会計予算を編成し、景気の下支えを行いつつ、切れ目のない経済対策が進められようとしているところであります。

平成25年度の地方財政対策におきましては、地方税収は税制改正の影響額を含めて増加する見込みとなっております。一方、地方交付税は対前年度比で減となったものの、地方全体の一般財源は前年度を若干上回る水準で確保されております。しかしながら、財源不足額の大幅な縮小までには至らず、前年度より増加した臨時財政対策債が計上されているところであります。

本市の財政状況につきましては、平成20年9月のリーマンショック以降、税収の実質的な回復までには至っていないことや、繰入運用金残高の解消などの課題がございます。こ

のため、歳入確保に関する取り組みや、繰入運用金の計画的な償還を進めながら、引き続き財政構造のさらなる改善と持続可能な財政基盤の確立に向けた取り組みを進めてまいります。

「地域主権改革」につきましては、政権の交代により「地方分権」へと呼び方は変わりましたが、具体的な道筋は未だ示されていない状況にあります。

去年は、いわゆる「地域主権改革に係る一括法」により、法令による義務付け・枠付けの見直しと都道府県から基礎自治体への権限移譲が進み、本市におきましても各省庁の基準を踏まえて、必要な条例を整えてまいりました。本市の特性にそった施策展開がより可能になった一方で、自治体としての姿勢や考え方、判断などがますます問われてまいります。

また、道府県の区域内において市町村を廃止し、特別区の設置を可能とする「大都市地域特別区設置法」が成立しましたが、大都市制度の見直しや国の出先機関の廃止など大きな枠組みについては、十分な議論には至っておりません。

私は、中核市市長会において、都道府県を今日的に見直し、住民にもっとも身近な基礎自治体優先の都市制度の枠組みを

再構築し、権限に見合った財源の移譲を国に働きかけるよう
うったえてまいりました。今後とも引き続き、“中核市とよなか”
に相応しいまちづくりを進めるため、職員一人ひとりが、
果たすべき役割と責任の重さを十分に自覚し、市民サービスの
充実に努めてまいります。

以上、本市を取り巻く社会経済情勢について申し述べまし
た。それでは、平成25年度の市政運営の基本的な考え方につ
いて、基本政策の3つのプロジェクトにそって申しあげま
す。

最初に、「暮らし応援 生活安心プロジェクト」であります。
雇用・労働につきましては、福祉や産業部門等との連携によ
り、引き続き雇用対策や就労支援を進めます。企業誘致につ
きましては、「企業立地促進条例」の期間を5年間延長し、支
援対象の拡充を図るとともに立地促進計画を策定し、本市の
企業誘致の姿勢を積極的にPRしてまいります。また、空港
を活かしたまちづくりにつきましては、就航都市との観光や
物産の交流の場を開設し、事業を展開してまいります。

次に、「豊中っ子 健やかはぐくみプロジェクト」でありま
す。「子ども健やか育み条例」につきましては、多様なご意見

をいただきながら成案化し、ご提案をする運びとなりました。引き続き、条例に基づく行動計画の策定に向けた取り組みを進めてまいります。乳幼児等の医療費につきましては、所得制限を見直すとともに、放課後こどもクラブにつきましては、学年延長を図ることといたしました。また、小学校におきましては、教頭の複数配置や課題別学級編制を導入するなど教育文化都市にふさわしい義務教育を展開してまいります。

最後に、「お役所仕事 点検・見直しプロジェクト」であります。先にご承認いただきましたパスポートセンターの開設やコンビニエンスストアでの各種証明書の発行を開始し、市民の利便性の向上を図ります。また、本庁舎の窓口表示等の改善、問い合わせ窓口を一元化する総合コールセンターの開設、職員の接遇の向上など、さらに便利で親しみやすい窓口サービスに努めてまいります。債権管理につきましては、「債権の管理に関する条例」を制定し、債権のより適正な管理を図ってまいります。組織機構につきましては、本年度で最終年次となる「新・豊中市行財政改革大綱」が当初の役割を果たし終えたことから、行財政再建対策室を廃止いたします。また、教育環境が多様化する中で、より効果的な教育行政を進めるため、委員会事務局体制の強化に向け、所要の調整を

図りました。

さて、以前にもご紹介いたしました但、昨年ニ実施されま
した大手の民間不動産会社の調査によりますと、関西圏にお
ける「実際に住んでみて良かった街」ランキングで、本市は、
西宮、神戸に次いで第3位となるなど高い評価をいただくこ
とができました。これは、空港や鉄軌道、道路など、交通の
利便性はもとより、暮らしの安全・安心感や教育・子育て環
境などについても、バランス良く支持をいただいたことが大
きな要因になっております。

一方で、これから「住んでみたい街」ランキングでは、第
19位となりました。住まいを決める事前評価と実際に住ま
われた事後評価のランキングに大きな隔たりがあることから、
私は、本市の魅力がさらに広く認知される工夫とともに、都
市として住み、働きやすい環境づくりが何よりも重要である
とあらためて痛感したところであります。

平成25年度予算は、10数年にわたる財政非常事態に終
止符を打つと同時に、私の二期目の総仕上げともいえる編成
であります。

このため、「(仮称)文化芸術センター」や「(仮称)新・学

校給食センター」の建設着手に加え、市南部地区の既存木造住宅への対応と良好な住宅ストックの形成、さらには、千里中央地区の活性化など社会資本の整備を促進いたします。また、子どもや子育て世代への取り組みを充実させるなど、次の時代に向けて政策的な投資を積極的に行うとともに、企業誘致や観光、空港を活かしたまちづくりなどに取り組み、本市の良さや魅力をアピールしてまいります。

本日、ご提案させていただきます予算案につきましては、

1. 次世代の育成と子育て・子育ちの環境づくり
2. 災害に強く活気ある市街地の再整備
3. 地域資源を活かした魅力あふれるまち
4. 地域で安全に安心して暮らせるまち
5. 市民により身近な市役所づくり

以上のことを重点に編成を行いました。

この結果、平成25年度の予算規模は、

一般会計	1千383億8千24万6千円
特別会計	810億1千553万2千円
病院事業会計	212億4千887万7千円
水道事業会計	109億6千486万7千円

公共下水道事業会計 1 6 0 億 5 千 1 7 万 9 千円

合計 2 千 6 7 6 億 5 千 9 7 0 万 1 千円

で、全会計では、前年度予算と比べまして1.5%の減、一般会計では前年度に比べ3.3%の減となっているものでございます。

それでは、基本政策にそって、主な内容につきまして順次ご説明申し上げます。

〔安全に元気に住み続けられるまち〕

子育て・子育て支援につきましては、民間保育所の整備・認定こども園の開設による待機児童の解消を進めます。

危機管理につきましては、災害時の情報伝達体制の充実を図るため、市役所庁舎に非常用放送設備を設置するとともに、簡易型携帯電話（PHS）を整備し、非常時における避難所との通信手段を確保いたします。

地域保健につきましては、子宮頸がんや小児用肺炎球菌等の予防接種を全額公費負担するとともに、安心して妊娠・出産のできる環境を整えるため、妊婦健康診査の公費助成を増額いたします。

国民健康保険につきましては、被保険者均等割において、3,000円の引き下げを行います。

高齢者福祉・介護保険につきましては、高齢者や障害者の緊急通報システムの利用を促進するとともに、地域包括支援センターの訪問体制を充実します。さらに、定期巡回・随時対応型の訪問介護・看護など、地域密着型のサービスを提供し、セーフティネットの充実を図ります。

障害者福祉につきましては、市民のニーズにそった複合型の福祉施設の整備に向けて取り組みを進めます。

救急・消防につきましては、高規格救急自動車などの消防車両の更新を図るとともに、消防指令など広域での共同運用について検討を進め、業務の効率化を図ってまいります。

安全対策につきましては、通学路の安全点検の結果を踏まえ、必要な措置を講じるとともに、主要道路の歩道改良整備を実施してまいります。

庄内・豊南町地区におきましては、耐火性に優れた建築物への更新を適切に誘導するため、防災街区整備地区計画を施行するなど、市街地における防災性を高めてまいります。

災害に強い都市基盤の整備につきましては、都市計画道路穂積菰江線及び神崎刀根山線の早期完成に向けて引き続き取り組みを進めるとともに、道路や橋梁につきましては、舗装や照明等の点検調査を行い、計画的な維持管理を行います。また、事業者が実施するバス停でのベンチ設置に対する補助を行い、公共交通機関の快適性の向上を図ります。

病院事業につきましては、「市立豊中病院運営計画」に基づき、市民から信頼される質の高い医療を提供するとともに、効率的な病院経営に努めます。

〔人づくりと豊中文化を大切にすまち〕

学校教育につきましては、「マチカネ先生塾」を開講し、本市での教員を志望する学生の養成を図ります。また、小学校では高学年での教科担任制を拡充するとともに、中学校におきましては、学校現場に応じたプログラムが展開できるよう「オンリーワン事業」をスタートさせることといたしました。

学校給食につきましては、お弁当とデリバリー給食の選択制による中学校給食を導入します。

学校施設につきましては、改築工事は小学校3校、中学校2校、耐震補強工事は小学校16校、中学校6校において実施します。また、小学校12校において冷房設備を整備します。

生涯学習につきましては、生涯スポーツの推進を図るため、「スポーツ推進計画」の策定に取り組みます。また、大阪国際空港周辺緑地内の「(仮称)多目的芝生運動広場」に、観覧席を設置するなど、利用の向上を図ります。

文化振興につきましては、文化芸術推進プランに基づき、音楽月間の充実とともに、文化芸術に関わる企画制作講座を実施します。

都市の魅力創造につきましては、より多くの方々が本市の魅力を実感できるよう観光イベントの開催や、ゆかりある人

物・特色ある街なみを紹介する観光冊子の発行とともに、原付ナンバープレートのデザイン化を図るなど、地域資源を活かした豊中ブランドの創出と発信に取り組みます。

〔環境にやさしく、快適な暮らしを応援するまち〕

産業振興につきましては、市内事業者の経営力強化を支援するため、中小企業チャレンジ補助金を拡充します。

環境施策につきましては、持続可能なまちづくりに向け「第2次環境基本計画」に基づく取り組みを推進します。また、リサイクル交流センターと環境情報サロンを統合し、環境交流センターを開設します。

廃棄物減量につきましては、ごみの適正処理及び資源化の促進に向けた取り組みを進めます。また、効率的かつ効果的なごみの収集運搬体制の構築に取り組みます。

千里ニュータウンの再生につきましては、土地建物利用のルールづくりや近隣センターの活性化に向けた支援を進めます。また、都市景観につきましては、新たに「都市景観形成マスタープラン」の策定を行います。

住宅・住環境につきましては、より良い住宅ストックの形成に向けて、住宅や住環境の現状調査を行いながら検討を進

めるとともに、「(仮称)市営二葉第3住宅」の建設に取り組みます。

市営の借上住宅につきましては、順次借上期間が満了を迎えることから、計画的に入居者の移転を進め、居住の安定を図ります。

上下水道事業につきましては、「とよなか水未来構想」に基づき、施設の耐震化や改築更新ならびに浸水対策等に取り組むとともに、利用者の満足度調査を行い経営に反映させるなど、財政基盤の強化と効率的な事業運営に努めます。

〔共感のコミュニティの息づくまち〕

本年は、サンマテオ市と姉妹都市提携を結び50周年を迎えることから、両市の交流をさらに進めてまいります。

地域コミュニティにつきましては、その活性化を図るため、地域での自治の仕組みづくりと自主的な活動への支援を行います。また、協働事業市民提案制度につきましては、市民が創るジャズ音楽祭を開催します。

「(仮称)南部コラボセンター」につきましては、その具体化に向けての基本構想を策定します。また、千里ニュータウンにつきましては、地区内を中心としたさまざまな地域資源を

紹介する観光マップの作成に取り組みます。

〔市民感覚で市政を進めるまち〕

市民生活の安全につきましては、「暴力団排除条例」を制定し、市全体で暴力団の排除に向けた取り組みを進めます。また、市が発注する契約につきましては、女性や障害者等の雇用機会の確保など、事業者の取り組みを考慮する総合評価入札方式の適用を拡大します。

市有施設につきましては、「市有施設有効活用計画」に基づき、施設の整備、管理運営、配置の最適化を推進してまいります。

広報・広聴活動につきましては、フェイスブックの作成や動画を配信するなど、人と人とのつながりをサポートするウェブサイト（SNS）を活用しながら、本市の魅力をさらに広く効果的に発信します。

以上、極めて概括的ではありますが、私の市政運営に関する所信の一端を述べてまいりました。

本市におきましては、市民の暮らしをめぐる環境はまだまだ厳しい状況にあるものの、地域の再生に向けた機運の高ま

りとともに、明るい兆しが徐々に見え始めています。市民の皆さんが、それぞれの持ち味を発揮し、創意工夫をこらしながら、現状を乗り越えていこうとする姿を見るにつけ、「市民力」、「地域力」の素晴らしさを実感し、また、このような活動の積み重ねが、近い将来に、必ず大きな果実をもたらすものと確信いたします。

このため、私は、このまちに住む人誰もが輝き、未来に期待を持てるよう、「子どもたちの未来が輝くまちづくり」の実現にむけ、渾身の力を込めて平成25年度の市政運営に取り組んでまいります。

そして、自治基本条例に掲げる「市民主権」の理念にのっとり、情報共有、参画、協働という自治の基本原則に則して、第3次総合計画後期基本計画の各施策を着実に進めてまいります。

本日、ご提案いたしました予算案及びその他の諸議案につきましては、関係職員から詳細をご説明申し上げますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

